



直接的なビジネスチャンス	間接的なビジネスチャンス
<p><住まい> 高齢者住宅、集合住宅、空家活用</p>	<p><住み替え・移住支援> 空家情報提供、資産管理・処分、相続相談、不動産活用、住宅改修、お試し居住ツアー</p>
<p><健康・医療・介護> 健康づくり、介護予防、医療・介護、リハビリテーション、看取り</p>	<p><移動・情報のネットワーク> 高齢者の移動支援、施設、機能間の連携、健康・医療、介護データベース、域外の子ども世帯との連携</p>
<p><社会・地域活動> 地域活動、まちづくり社会参加、祭事、子育て支援</p>	<p><研究開発・製品開発> 医療・介護・福祉の機器開発、高齢者サービスプログラム</p>
<p><生活> 食事・配食、見守り、相談、家事支援</p>	<p><人材育成> 健康・医療・介護人材、「生涯活躍のまち」コーディネーター人材</p>
<p><就労・起業> 大学等の指導、コミュニティビジネス、農業・6次産業、観光</p>	
<p><余暇・交流・学習> 大学講座、文化教養、自然散策、スポーツ、農業体験、家庭菜園、多世代交流</p>	

構想研究会



2月3日(水)に、まちづくり交流センターにおいて、「第1回都留市CCRC構想研究会」を開催しました。

この研究会は、本市と山梨中央銀行との共同主催によるもので、本市の進める「生涯活躍のまち(CCRC)・つる」事業に関連し、事業者や市民を対象として、その仕組みや考え方の理解を深めるとともに、この機会を新たなビジネスチャンスとして捉えていただき、「生涯活躍のまち・つる」のより良い姿を官民共働で創出していくことを目的としています。

当日は、予想をはるかに上回る105社、約250名の方々のご参加をいただき、山梨県、株式会社三菱総合研究所の両者から、国や県の考える地方創生や生涯活躍のまち事業の趣旨や目的をご説明いただき、その後本市の考える「生涯活躍のまち・つる」の説明を通して、内容の理解を深めていただきました。

「生涯活躍のまち」のビジネスチャンス

「生涯活躍のまち」事業は、首都圏を中心とした元気な高齢者(アクティブシニア)が地方に移り住み、地域住民と一緒にいきいきと暮らし、活躍することによって、医療・介護分野をはじめとした雇用の創出や、移住者をターゲットとした新たな産業・商業の誘致・起業などを促進し、地域全体の活性化を目指すものです。

この取り組みの中で、ポイントとなるのは、移り住んできた方が「地域住民と一緒にいきいきと暮らし、活躍すること」にあります。

例えば、高齢者を移住させる策として、建物のみを用意し、入居してもらうだけであれば、人口こそ若干増えますが、地域活性化という観点では大きな効果は期待できません。今回の「生涯活躍のまち」では、移住した方を含めた市民全体が、地域で「生きがい」を見出し、「活躍」し、いろんな世代との「交流」を行うことにより、まちの元気を取り戻し、活性化につなげることを大きな目的としているのです。

こうした取り組みの中では様々なビジネスが生まれることが想定されます。現時点においても直接的・間接的には、次頁の表のようなビジネスチャンスが生まれることが考えられます。

「生涯活躍のまち・つる」におけるビジネスチャンス

こうしたビジネスチャンスに加え、本市ならではの強みともいえる、都留文科大学、健康科学大学、県立産業技術短期大学校といった、市内3つの大学との連携に力を入れています。

これにより、「生きがい」の一つとして、質が高く、幅広い分野(教育系・健康系・工業系)の「生涯学習プログラム」を提供することが可能となります。

この「生涯学習プログラム」は、高齢者だけでなく、すべての市民が享受できるものであり、この「学び」を活用することによって、新たなまちづくり活動や、コミュニティビジネスの起業にもつながる可能性が膨らみます。

大学連携という取り組みにおいては、起業やまちづくりにおいても大学の技術的助言や協力体制などを得られることも考えられ、こうした幅の広い取り組みによって、誰もが生涯を通してきらめく人生を送れるようなまちの姿を実現していくと考えています。

今後も引き続き研究会を実施していくことによって、さらにビジネスチャンスの幅は広がることが想定されます。2回目以降からの参加でも結構ですので、ぜひご参加いただき、より良い都留市のまちづくりへの参画をお願いいたします。

「第2回都留市CCRC構想研究会」のお知らせ

日時 3月18日(金)14時〜
場所 まちづくり交流センター4階大ホール
テーマ 「CCRC構想を深堀する」
申込締切 3月10日(木) 申込先
○都留市役所企画課
○山梨中央銀行本・支店
事業者の方は、お取引のある店舗の担当者にお申し付けください。
申込書は市ホームページから入手できます。

